

学校関係者評価委員会(2025 年度まとめ)

2026 年 3 月 21 日(土)10:00~12:30

善隣幼稚園 すみれぐみ教室

出席委員名 宮城茂光 前泊加代子 後藤阿子 宮平一代 小橋川正吉
与儀幸英 比嘉弘子 城倉 翼(園長) (敬称略)
陪席 宮城むつみ(理事長) 山内淳(副園長) 金城めぐみ(主任)

1. 開会の祈り
2. 理事長挨拶
3. 資料の説明
4. 質疑・意見交換
5. 評価
6. 閉会の祈り

A(良い) B(一部検討を要する) C(改善を要する)

評価項目	結果	意見
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる。		
幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を作成する。		
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。		
保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応をはかる。		
保護者が期待する幼稚園像を理解し把握しつつ、建学の精神に則った、私学の独自性を守り、本園の運営・経営の充実をはかる。		
安全管理に関し教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの共通理解をはかる。		
幼児に対応した個別の指導計画を作成し、医療・福祉の関係機関との連携をはかる		

★今後取り組むべき課題

--

【学校関係者評価委員からの評価】

評価項目① 幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる

評価 A/A/A/A/A/A/A

- 教師たちの中でしっかり情報共有や連携がされていて、日々の保育にも同じ方向性が感じられた。子ども一人ひとりに丁寧に関わっている様子から、安心して園生活を任せることができた。
- 普段は教師同士で気軽に確認し合える良い環境だと感じていますが、今後のためにも、マニュアルなどを少しずつ整えて「見える形」にしていくことで、より分かりやすくなり、さらにスムーズな連携につながるのではないかと感じた。
- 一日の活動の流れ、自主活動、クラス活動、体育活動、英会話、音楽遊び、ポパイ教室、わらべ歌、伝承遊びなど共通理解をはかり実施されている。
- キリスト教に基づいた教育の理解の上に、子どもたちや保護者への対応についても、教師間での共通理解を常に意識してほしい。
- 日々の振り返り、ミーティングがよくなされており、共通理解はもちろんのこと、園として教員が相談できる場として機能していると思った。

評価項目② 幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を作成する

評価 A/A/B/A/B/A/A

- 園が大切にしている考え方が、日々の保育や行事を通して自然と伝わってきた。子どもたちの成長をしっかり考えながら、継続して取り組まれていると感じた。
- 今後は、申し送りの内容をシンプルにしたり、チェック項目のような形にすることで、より分かりやすく共有できるようになると、負担も少なく次につながりやすいのではないかと感じた。
- 園児の推移や諸状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画が作成されていると思うが、教育計画で示せないかご検討いただきたい。
- 指導計画が利用されており、教員の考える指標になっていることが伝わった。

評価項目③ 教育の質の向上のために、園内研修を充実させる

評価 A/A/A/A/A/A/A

- 教師たちの関わりや保育の工夫から、日々しっかり振り返りや学びが行われていることが伝わってきた。より良い保育を目指して取り組まれている姿勢を感じた。
- その中で、教師たちの時間の確保や、「より良くしていこう」という気持ちをどう続けていくかについては、今後も教師間で話し合いながら考えていけると良いのではないかと思います。
- 毎月の暗唱聖句学び会、キャリアアップ研修の研修報告で良き学びとなった。研究発表の代表園として、素晴らしい発表ができた。

- 教師たちから、研修に参加できてよかったとの声があり、多くの学ぶ機会があったと感じた。

評価項目④ 保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応をはかる

評価 A/A/A/A/A/B/A/A

- 日々の声かけや丁寧な対応から、保護者に寄り添ってくださっていることが伝わってきた。安心して相談できる雰囲気があると感じる。
- 一方で、『れんらくアプリ』と『おうちえん』の使い分けや、『おうちえん』内での情報の分け方について、少し分かりづらいつと感じることがあった。私自身もきちんと見られていない部分はあるのですが、もう少し見やすくなると、より活用しやすくなると感じた。
- 保護者との信頼関係を築くよう努力している。
- アプリの連絡帳も活用し保護者と連携している。
- 保護者の安心感は子どもの成長へと繋がると思う。
- アンケートや(保護者会)役員会でのやりとりから、意見に耳を傾けてくれていると感じる。

評価項目⑤ 保護者が期待する幼稚園像を理解し把握しつつ、建学の精神に則った、私学の独自性を守り、本園の運営・経営の充実をはかる

評価 A/A/A/A/A/A/A

- 園の大切にしている考えがしっかり共有されていて、全体として落ち着いたあたたかい雰囲気の中で運営されていると感じた。
- 教育理念・教育方針・園目標、年主題、月主題、クラス別指導案が構築されていて、本園の運営経営の充実が図られている。園長のメッセージ、祈りが善隣幼稚園の独自性として素晴らしいと感じる。
- 保護者との関わり方はとても大切だと思う。それぞれの環境を理解する上で声掛けをすることで親子が安心できる。
- 行事毎にアンケートをアプリで集めるなど、意見を取り入れる姿勢がとても良かった。「おたのみし会」での着替え、撮影場所の設置など、とても良い改革をしている。
- 園内に「建学の理念」の掲示をする。

評価項目⑥ 安全管理に関し教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの共通理解をはかる

評価 A/A/A/A/A/B/A

- 日々の保育の中で安全への配慮が感じられ、安心して子どもを預けることができた。
- 一方で、危機管理マニュアルについては、定期的に見直ししながら、今の状況に合った形に更新していくことが大切だと感じた。
- 「分かっているつもり」が対応の遅れにつながることもあるため、今後も教師たちの中で確認や共有を続けていただくと安心だと感じた。
- 毎月の避難訓練、交通安全指導等しっかり実施している。

- 毎月の避難訓練はとても良いと思う。子どもたちも落ち着いて行動できるようになるのではないか。
- 避難訓練を通して、教員と園児が学び合っていると感じた。

評価項目⑦ 幼児に対応した個別の指導計画を作成し、医療・福祉の関係機関との連携をはかる。

評価 A/B/A/A/B/A/A

- 子ども一人ひとりに合わせた丁寧な関わりがされており、必要に応じて外部とも連携しながら支援が行われていると感じた。安心して相談できる体制があると感じる。
- 個別指導計画は担任が作成し実施されている。医療・福祉の関係機関との連携がどのように図られているかわからない。
- 指導計画に基づいて、一人ひとりに合った支援を続けていけば良いと思う。
- 進学する小学校との連携

【今後取り組むべき課題】

- 人間としての土台づくりを実践している善隣幼稚園、素晴らしいです。しかし、少子化・物価高騰の中での園運営は厳しいと思います。広報活動・園児募集が求められると思います。(より一層)
- 今後も先生方の中での情報共有や振り返りを大切にしながら、保護者との連携を深めていけると良いと感じた。
- また、安全面についても、今の取り組みに加えて見直しや確認を続けていくことで、さらに安心できる環境につながることを期待したい。
- 子どもの特性(強みも含めて)を理解して、教師たちが共有することで、子どもへの対応が一緒にできるようになり、それぞれに合った社会性を培うことができると思う。
- 園児だけでなく、教師たちも成長していると感じる。
- 保護者へのかかわり方を常に考えていく。